



尾張徳川家に伝わる 名品の数々を所蔵・展示

徳川美術館

徳川家康の遺品を中心に、尾張徳川家初代義直以下、代々の遺愛品(大名道具や美術工芸品、茶道具など)を収める美術館。10,000件余りの所蔵品には、三代将軍家光の娘・千代姫の婚礼調度[初音の調度]や徳川家ゆかりの刀剣をはじめ、国宝9件、重要文化財59件が含まれる。大名家伝来家宝の所蔵では日本最大規模であり、さまざまな特別展や企画展も開催されている。

名古屋市中区徳川町1017 052-935-6262
10:00~17:00(入館~16:30) 休館(祭の場合翌日)、年末年始 大人 ¥1,600 ほか 図大 観覧券より 徒歩10分

◆大名の生活と文化を紹介する名品コレクション展示室。約1か月ごとに作品を入れ替える

近世

徳川御三家筆頭のお膝元として発展

江戸時代の民謡の一節に「尾張名古屋は城でもつ」とうたわれたように、徳川御三家筆頭の尾張徳川家と共に繁栄を極めた。初代・義直、二代・光友は学問を好み、城下町名古屋の礎を築く。その後、七代・宗春の自由奔放な治世に、「芸どころ」名古屋の文化が華開いた。

蔵書数12万点の 名古屋蓬左文庫

徳川家康の遺品として分与された蔵書「駿河御蔵本」をきっかけに形成された、尾張徳川家の御文庫がはじまり。尾張徳川家の旧蔵書を中心に、貴重な和漢の古典籍や多彩な絵図を所蔵している。蔵書閲覧のほか、展示や講演会も実施。

2024年の大河ドラマ「光る君へ」にまつわる国宝「源氏物語絵巻」。源氏物語を題材にした現在最古の絵巻だ。



コレに注目!

歴史と伝統が描き出す 自然景観の美を象徴的に凝縮

徳川園

尾張二代藩主の徳川光友が、1695年に隠居所である大曾根屋敷に移り住んだことが起源。自然景観を象徴的に凝縮した池泉回遊式の日本庭園で、見事な巨石の岩組みや、水量が増して滝壺の石が没する趣向をこらした龍門の瀧が特徴的だ。2024年7月、園内で第65期王位戦の第一局が行われた。

名古屋市中区徳川町1001 052-935-8988
9:30~17:30(入園~17:00)
休館(祭の場合翌日)、年末年始 大人 ¥300 ほか 図大 観覧券より 徒歩10分



◆3段に流れ落ちる大曾根の瀧
◆庭園の中心的存在である龍仙湖。地下水を水源としている

貴重な建物が残る尾張徳川家の菩提寺

徳興山建中寺

1651年、尾張二代藩主の徳川光友が、父義直を弔うために創建した浄土宗の寺院。尾張徳川家の菩提寺であり、建物の多くは愛知県や名古屋市の指定文化財、国指定登録文化財などになっている。権現造りの霊廟には、歴代藩主の位牌を安置する。

名古屋市中区筒井1-7-57 052-935-3845 5:00~17:00、寺務所は9:00~12:00、13:00~17:00 休館(祭の場合翌日)、年末年始 図大 観覧券より 徒歩10分



◆創建当時の建物である総檜造りの三門。二階には、釈迦牟尼仏と十六羅漢の像が祀られている(非公開)

藩主の寺、から民衆に開かれた寺、へ

八事山興正寺

高野山真言宗の別格本山。1688年の創建で、尾張藩二代藩主の徳川光友をはじめとした尾張徳川家の祈願所として信仰を集めた。1808年の五重塔建立をきっかけに民衆の参拝者が増加。現在も毎月5・13・21日の縁日には露店が立ち並び、老若男女問わずにぎわいをみせている。

名古屋市中区八事本町78
052-832-2801 24h、納経所は8:00~17:00 休館(祭の場合翌日)、年末年始 図大 観覧券より 徒歩3分



◆五重塔は、国の重要文化財に指定されている。春は桜、秋は紅葉が彩りを添え、美しい景観を満喫できる

マークの見方 ● 住居所 ☎ 電話番号 ☎ 営業時間 固定休日 図 料金 図 アクセス

近代~現代

陶磁器産業や機械工業が経済をリード

明治期には陶磁器の絵付け・加工業が発達。近隣の陶磁器の産地まで街道が走り、海運にも利便性が高いことから、フリタケやナルミなど世界に名をはせるブランドが誕生した。また、時計やバイオリンがこの地で国産化され、豊田佐吉や大隈栄一が機械工業を興した。

大正末期の趣ある姿を今に伝える豪商の邸宅

文化のみち 榎木館

輸出陶磁器商として成功し、業界の発展に貢献した井元為三郎が、大正末期から昭和初期に建てた邸宅。ステンドグラスが贅沢に使われた洋館の旧応接室は現在、カフェとして営業中。大正ロマンあふれる空間でティータイムが楽しめる。

名古屋市中区榎木町2-18 052-939-2850 10:00~17:00
休館(祭の場合翌日)、12/29~1/3 図大 観覧券 ¥200、中学生以下無料 図大 地下鉄高岳駅 ② 出口より 徒歩10分

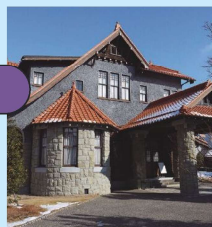


オレンジの屋根が 印象的な和洋折衷建築

文化のみち 二葉館

日本の女優第1号の川上貞奴と、電力王と呼ばれた福沢桃介が大正から昭和初期にかけて居住。斬新さと豪華さから「二葉御殿」と呼ばれ、政財界人や文化人の集まるサロンとなった。ステンドグラスや螺旋階段のランタンも見応えあり。

名古屋市中区榎木町3-23 052-936-3836 10:00~17:00
休館(祭の場合翌日)、12/29~1/3 図大 観覧券 ¥200、中学生以下無料 図大 地下鉄高岳駅 ② 出口より 徒歩10分



近代化の歩みを伝える 文化のみちを散策しよう

文化のみちとは、名古屋城から徳川園に至る一帯を指す。江戸時代の武家屋敷がルーツであり、近代になると日本の産業をリードした起業家が多く暮らしていた。そのため、江戸から大正時代にかけての名古屋の近代化の歩みを伝える、貴重な歴史遺産が集まっている。

美的センスにあふれた 先進的な設計デザイン

旧豊田佐助邸

発明王・豊田佐吉の実弟、豊田佐助の邸宅。洋館と和館で構成され、洋館の1階には、蓮の蕾の形をした照明や、鶴亀にとよだの文字をデザインした換気口が見られる。いち早く水洗トイレや耐震構造を取り入れた点もポイント。

名古屋市中区主税町3-8 052-678-2220(名古屋まちづくり公社) 10:00~15:30 休館(祭の場合翌日)、12/29~1/3 図大 観覧券 図大 地下鉄高岳駅 ① 出口より 徒歩15分



洋館の奥が和館に! 和と洋の調和に注目

旧春田鉄次郎邸

陶磁器貿易商の春田鉄次郎が、建築家の武田五一に依頼して建てたと言われる邸宅。洋館2階や和館では、実際に使われた家具や建物細部のデザインを見学できる。レストランとして営業する洋館1階は見学不可。

名古屋市中区主税町3-6 052-678-2220(名古屋まちづくり公社) 10:00~15:30 休館(祭の場合翌日)、12/29~1/3 図大 観覧券 図大 地下鉄高岳駅 ① 出口より 徒歩15分



名古屋城・歴史

ココにも行こう!

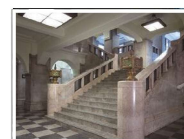
名古屋らしさを表現した意匠が各所に

名古屋市役所本庁舎

昭和天皇御大典事業として、1933年に竣工。西洋的な建築様式に日本的な要素を盛り込んだ独創性が高く評価され、隣接する愛知県庁本庁舎と共に、国の重要文化財に指定。中央にそびえる高さ53.5mの時計塔がシンボルで、緑の瓦や四方にらみのしゃちば、すぐ近くにある名古屋城との調和を図ったデザインになっている。

名古屋市中区三の丸3-1-1 052-961-1111(代)
8:45~17:30 休館(祭の場合翌日)、年末年始 図大 観覧券 図大 地下鉄名古屋駅 ② 出口より 徒歩1分

◆ドラマや映画のロケにもよく使われる中央広間は、高さ約20mの吹き抜け。柱や階段の手すりには、国会議事堂と同じ大理石を使用。照明器具は陶芸家、小森忍の作品だ。◆日本趣味を基調とした近世式の建物。平日の開庁日は、廊下や階段などの共用部分を自由に見学できる



歴史的価値の高い
建物を見学



カルチャー&これぞ名古屋の

尾張藩主・徳川宗春の時代に花開いた芸処としての名古屋。今なお、多くの伝統文化が受け継がれている。

実は名古屋が発祥!

どどいつ(都々逸)

七・七・七・五の26文字で歌われる定型詩の一つ。現在は三味線を伴奏楽器とし、短詩に節を付けて寄席や座敷などで唄われる俗曲だが、そのルーツは名古屋にあった。文化年間(1804~18年)のころ、東西交通の要衝だった熱田に入ってきた江戸の潮来節と、上方のよしこ節を茶屋の仲居がアレンジ。この節が江戸でも評判となり、どどいつというジャンルが拓かれたと言われている。

②地下鉄伝馬町駅南東の住宅街に立つ「都々逸発祥之地」の碑



③儀式性と娯楽性を併せ持ち、芸能史上重要なものとされる

日本のお笑いのルーツ

尾張万歳

新年を祝うと共に、福や富を呼び込む正月の祝芸能である万歳。国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統芸能だ。扇子を持って祝詞を唱える太夫と、鼓をたたいて合の手を入れる才蔵の2人一組で演じるのが門付け万歳の基本。それに3人、5人、7人で演じる御殿万歳がある。時代が下ると、そこに笑いの要素が加わり、興行化していく。これが大阪に伝わり、現在の上方漫才の基礎となったと言われている。



①現在では、名古屋城や知多市尾張八幡神社などで公演を行っている(写真はイメージ)



①東京日比谷公会堂で演じた3代目長福太 ※写真は1930年ごろ



②才蔵が増えたり、楽器が加わったりもする ※写真は1955年ごろ



③正月に万歳列車が運行した時代もある ※写真は1960年代初め

基本の五万歳

①法華経万歳

無住国師が最初に作った万歳。仏の教を歌にし、天台宗や日蓮宗の家で演じる

②六条万歳

親鸞の一生や本願寺の素晴らしさをうたったもの。浄土真宗の家で行なわれる

③御城万歳

徳川幕府の将軍が住む江戸城や、江戸の大名屋敷などの繁華ぶりをうたうもの

④神力万歳

熱田神宮を建てる様子をうたったもので、檀家の座敷で神仏に對して行われる

⑤地割万歳

屋敷を建てる時に祝う万歳。演じる時と場所を選ばない。5つのうち最も後代の作

現代に受け継がれる 芸処名古屋の真髄を知る!

1730年、徳川宗春が尾張七代藩主となると、名古屋は芸処として発展していく。幕府の質素倹約令とは異なる独自の政策、すなわち規制緩和による経済活動の活性化を図り、その結果、名古屋城下の暮らしは豊かになっていった。こうして、今に続く芸処名古屋の礎が築かれたのだ。

31両が名古屋市の文化財に指定

山車文化



湯取車 (簡井町天王祭)

かつての東照宮祭で使用されていた山車として唯一現存する。山車に載せられているからくり人形の神子が、湯取神事を行うことから名付けられた。からくり人形は、神子のほか安倍晴明など4体を搭載。

二福神車 (花車神社祭)

三之丸天王祭の車楽に献灯する見舞車として誕生した。恵比須と大黒の二福神のからくり人形のほか、ざい振り人形の唐子とからくり仕掛けの宝袋を載せている。旧広井村の下花車が所有する山車である。



神明社山車 (戸田祭)

300年以上の歴史がある戸田祭りで披露。高欄には龍の彫刻があり、水引幕は菊と桐の紋の刺しゅうがされている。四本柱内に綾渡り人形、前欄に魔振り人形の計2体が載る。

唐子車 (鳴海表方祭)

1878年に相原町下郷本家が子の誕生祝いとして知多郡小野浦から購入し、知多型から名古屋型へ改造された。からくりは2体の唐子により演じられ、木の枝につるした太鼓を唐子が倒立して叩く。



④茶の湯文化と共に発展し、和菓子職人の技も磨かれていった⑤公募で選ばれた新しい和菓子8品による「なごや菓八集」も誕生した



茶道の流行をきっかけに発展

和菓子処

名古屋は全国屈指の和菓子処。これには、尾張徳川家の茶の湯好きが関係している。西三河南部の茶、瀬戸の陶磁器といった名産品が地元でそろそろことも手伝い、江戸後期には町人の間でもブームに。農民も農作業の合間に野良で抹茶を楽しんだ。それに伴い、茶請けの和菓子づくりも発展。和菓子店が続々と創業し、今なお続く老舗もある。

名古屋フィルハーモニー交響楽団

中部・東海の音楽界をリードし続ける

名古屋市に拠点を置く、日本有数のプロ・オーケストラ。楽団創立は1966年。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く話題を発信している。現在は、意欲的なプログラミングの「定期演奏会」をはじめ、障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」など、バラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演している。愛称は「名フィル」。



目と耳で芸術と文化を 体感する!

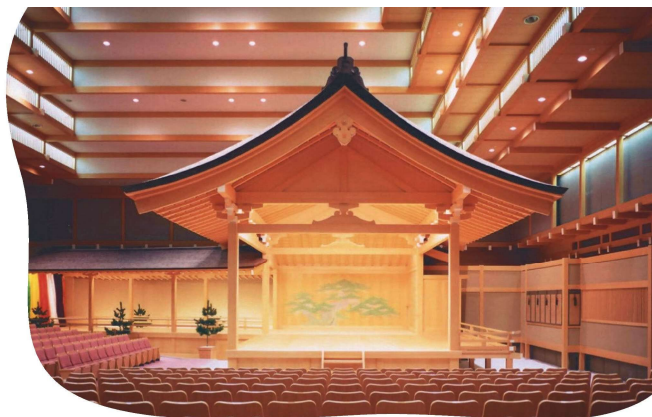
江戸時代に華開いた芸処・名古屋の文化は、脈々と現代に受け継がれている。能や狂言に演芸、建築、地元作家の作品やコレクターが収集してきた美術品など、この地域に残された芸術と文化に市内各所で親しむことができる。

木曾檜が香る 世界最大級の常設能楽堂

名古屋能楽堂

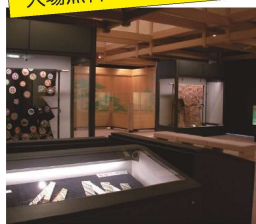
1997年、名古屋城正門前に開館。伝統的な日本建築様式を取り入れた優美な建物の中に木曾檜造りの能舞台がたたずみ、見所(観客席)は630席と広々。年に6回の定例公演では、イヤホンガイドによる演能の解説を聞きながら、初心者でも楽しむことができる。能舞台の裏側について知ることができるバックステージツアーやワークショップなども実施。

名古屋市中区三の丸1-1-1 ☎052-231-0088
☎9:00~17:00 休12/29~1/1 図展示室無料
図地下鉄浅間町駅①出口より東へ徒歩10分、またはなごや観光ルートバスメグル名古屋城下車すぐ



①名古屋能楽堂には老松と若松の2枚の鏡板があり、1年ごとに替えられる。今年度は老松(松野秀世作)

入場無料の展示室も必見!



②展示室には能装束や扇、能面などが展示され、パネルや映像で能楽の歴史などを学べるコーナーもある。鏡板の展示もあり、今年度は若松(杉本健吉作)を観賞できる



③外観は名古屋城との調和のとれた入母屋屋根。愛知まちなみ建築賞を受賞



④定例公演(写真)のほか、能楽や伝統芸能、講演会や結婚式も開催

名古屋の茶人もこよなく愛する山荘の茶室



①主屋は和洋室を並置したり、数寄屋風洋室を設えたりと、時代に先駆けた要素が見られる②茅葺の門と銅板葺の塀が趣深い。伊東の山荘であることから「東山荘」と命名された③タイプが異なる複数の茶室が配され、市民茶会や子ども茶道講座などが開かれている

茶会も実施!

東山荘

綿布間屋であった伊東信一の別荘として、瑞穂区の山崎川沿いに建てられたもの。1936年に亡くなった伊東の遺言を受け、一般公開を開始した。戦争の影響による公開中止、市長公舎としての活用を経て、1968年より茶室や和室などの貸室として利用されている。約3,600坪ある広大な庭には、雁行形に連なった母屋がある。

名古屋市中瑞穂区初日町2-3
☎052-831-2672
☎9:00~16:30(庭園見学は~16:00)
図休(☎の場合は翌日)、12/29~1/3
図庭園見学は無料
図地下鉄瑞穂区役所駅①出口より徒歩12分



①建築テーマは西欧と日本の共生等
②アメデオ・モディリアーニ《おさげ髪の少女》1918年頃

郷土美術やエコール・ド・パリなどが充実

名古屋市美術館

市の中心部に位置する白川公園内。三岸節子ら東海エリアの作家、モディリアーニをはじめとするエコール・ド・パリ、フリーダ・カーロなどのメキシコルネサンス、荒川修作、河原温、桑山忠明といった現代美術作家の作品を収蔵・展示する。建物は名古屋市のゆかりの建築家、黒川紀章が設計。日本の伝統的手法や色彩が織り交ざる。

名古屋市中区栄2-17-25 白川公園内 ☎052-212-0001
☎9:30~17:00(☎を除く☎は~20:00、最終入場は30分前)
図休(☎の場合は翌日)図常設展大人 ¥300ほか、特別展はその都度定める図地下鉄伏見駅⑤出口より徒歩8分



①上村松園《初秋》1943年頃
古川美術館蔵

②古川美術館③為三郎記念館。多岐にわたる事業を手掛けた実業家・古川為三郎が戦前より収集する美術品を寄附して設立

為三郎が寄付した美術品と数寄屋を楽しむ

古川美術館・分館 為三郎記念館

明治から昭和中期に描かれた近代日本画を中心に2,800点の作品を所蔵する古川美術館と、1934年に創建し、数寄屋建築で国登録文化財にも登録されている分館 為三郎記念館から成る施設。為三郎記念館内に併設されている「数寄屋 de Café」では、四季折々の和菓子と抹茶などを日本庭園や展示作品を見ながら楽しむことができる。

名古屋市中千種区池下町2-50 ☎052-763-1991
☎10:00~17:00(最終入場16:30)図休(☎の場合は翌日)
図共通券大人 ¥1,000~図地下鉄池下駅①出口より徒歩3分

フランス美術300年の歴史がわかるコレクション

ヤマザキマザック美術館

ヤマザキマザック前会長の山崎照幸が創立。自身が収集した美術品を展示する。印象派、アール・ヌーヴォーなど、18世紀から20世紀までのフランス美術の流れが一望できるコレクション構成が特徴。なかでも、ロココ期を代表する画家、アントワヌ・ヴァトールの作品は必見。作品の額からはガラスが外され、絵肌を直接鑑賞できる。

名古屋市中区葵1-19-30 ☎052-937-3737
☎10:00~17:30、☎自館は~17:00(最終入館は30分前)
図休(☎の場合は翌日)図常設展一般 ¥1,000ほか、特別展料金はその都度定める図地下鉄新栄町駅直接連絡



①ジャン=アントワヌ・ヴァトール《夏の木陰》1715年頃

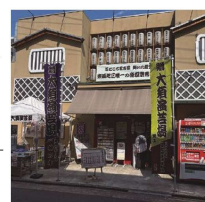


②ビル正面にロダンの彫像が。展示室は往時の邸宅の雰囲気

大須演芸場

芸処名古屋の中心地であった大須に1965年開館。2014年に閉館したが、大須と芸能を愛する同志が集い、装いを新たに翌年復活。落語や講談、漫才など演目は幅広く、コント55号、横山やすし・西川きよし、ツッポロといった大御所も高座に上がったことがある。また、運気が上がると評判のTシャツをはじめ、オリジナルグッズも販売。

名古屋市中区大須2-19-39 ☎0577-62-9203
(コールセンター、受付9:00~18:00)
☎定席寄席は毎月1~7日の11:00~14:30~
※変更になる場合あり。詳細はHPを確認
図不定休図大人 ¥3,300ほか
図地下鉄大須観音駅②出口より徒歩3分



③東西の演芸家と名古屋の芸人らが融合する特別な場所でもある④1階は椅子席131席、2階は座敷48席を設けている

大須を笑いで彩る、東海圏唯一の常設寄席小屋



まだある!
アート情報

「富嶽三十六景」でおなじみの江戸の浮世絵師・葛飾北斎は、名古屋に縁のある人物。約200年前、縦18mの大だるまを即興で描くイベントを名古屋で開催し、「だるせん(だるま先生の略)。」というあだ名が生まれた。また、「北斎漫画(ほくさいまんが)」も名古屋で誕生した本だ。

マークの見方 ● 国住所 ☎ 電話番号 ☎ 営業時間 図 定休日 図 料金 図 アクセス

祭り&イベントカレンダー

時代絵巻さながらの郷土英傑行列や街角狂言など、歴史や伝統に親しむ祭りから、コスプレの祭典まで、伝統と革新が融合した名古屋文化を楽しもう!

伝統的なものから国内外で注目を集める催しまで!



市中をにぎやかに盛り上げる名古屋最大の祭り

【10月】名古屋まつり

1955年に始まった名古屋の秋を彩る祭り。郷土英傑行列をはじめ、市指定文化財 山車揃や市文化財 神楽揃、華やかなフラワーカーが市中心部を行進する大規模な行列が登場。久屋大通公園や名古屋城など、複数の会場でイベントが楽しめる。名古屋市科学館や東山動植物園といった市内の観光施設の無料開放も実施。

- ①英傑行列の途中では、戦国時代の合戦を再現した演技も
- ②見事な山車9輛が練り歩く



郷土英傑行列が見もの!

祭りのメインとなるのは、豪華絢爛な郷土英傑行列。織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三英傑が、濃姫・ねね・千姫の三姫、ほか鎧武者たちを従えて市中を行進する。



織田信長

豊臣秀吉

徳川家康

世界最大級のコスプレの祭典を名古屋で開催

【8月】世界コスプレサミット

日本のアニメやマンガ、ゲームのキャラクターに扮したコスプレイヤーたちが、各国から名古屋に集まる。華やかなパフォーマンスを競うワールドコスプレチャンピオンシップのほか、ステージイベントなどを実施。2003年にスタートし、2017年には名古屋がコスプレホストタウンを宣言。世界中から20万人以上のポップカルチャーファンが訪れるコスプレの聖地となっている。



©世界コスプレサミット実行委員会

世界の頂点が決定!



- ①2024年は36の国・地域の代表選手たちが来日した
- ②コスプレパレードの聖地、大須観音での集合写真

世界一の総踊りとしてギネスに認定!

【8月】にっぽんど真ん中祭り

名古屋市中心に行われる踊りのイベントで、通称「どまつり」。国内外から集まる約200チーム、約20,000人が地域色豊かな踊りを披露。自分の住む地域の民謡を取り入れることが参加条件となり、それぞれが地元をアピールする。2010年、名古屋開府400年にあたる年には、9,481人が名古屋で踊り、「最も大規模な鳴子踊り」としてギネス世界記録™に認定された。

©にっぽんど真ん中祭り



- ①②久屋大通公園など16会場で開催。2024年は197万人以上が来場し、大阪のチーム「嘉門-KAMON-」が大賞に



暑い夏の風物詩

名古屋のまちなかで多彩な伝統芸能などを堪能!

【10・11月】やっとかめ文化祭DOORS

まちなかで伝統芸能をはじめ名古屋の文化体験ができる。2023年から「やっとかめ文化祭DOORS」とし、名古屋の文化の入口となるまちの祭典を目指している。辻狂言やストリート歌舞伎をはじめとした「まちなか芸披露」、まちを見て・聞いて・歩いてなごやを学ぶ「旅するなごや学」、大好きな人に贈りたい、名古屋の和菓子。をテーマにした和菓子企画「なごや和菓子」など多彩なプログラムを開催!



気軽に文化体験

- ①アクション満載のストリート歌舞伎②2023年よりパワーアップ。多彩な文化体験を通して、名古屋の魅力再発見!



港まちを活性化!

- ①AIRの一環として、旧・名古屋税関港寮をスタジオとして提供するプロジェクトを実施

- ②地域のイベントと連携し、街のにぎわいづくりを図る取り組みも実施している

港まちで生まれる、音楽とアートに触れる

【11~3月ごろ】アッセンブリッジ・ナゴヤ

※メインプログラムの開催時期

名古屋の港まちで行われる音楽と現代アートのフェスティバルとして2016年にスタート。2020年度までは公共空間や空き家などで展覧会やコンサートを開催。2021年度からは、国内外のアーティストが滞在して制作や活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス(AIR)」という新たな取り組みへ移行。これに伴う展覧会やコンサートなども開催している。

写真提供=アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会

この祭り&イベントにも注目!

【熱田区/1月】歩射神事(熱田神宮)

豊年と厄災を祈る神事で、毎年1月15日に行われる。直径1.8mの大的の中央に取り付けた「千木」と呼ばれる木片を目がけて、6人の神職が36本の矢を放つ。



【中区/5月】若宮祭り(若宮八幡社ほか)

名古屋三大祭の一つ。2日にわたって開催され、初日は山車が当番町内を曳き回され、2日目は神輿と共に本町通りを通って那古野神社まで曳き出される。

【中村区/5月】太閤まつり

豊臣秀吉を祀る豊國神社(中村区)の例祭。豊太閤頭巾行列や出世稚児行列、神輿、中村公園での野外ステージなどで盛り上がる。5月18日の直前の週末に開催。

【東区/6月】天王祭

6月の第1土・日曜に、東区筒井町と出来町で行われる山車祭り。筒井町では2両(②P23)、出来町では3両の山車が曳き回され、初夏の風物詩として親しまれている。

【緑区/6月】有松絞りまつり

有松の旧東海道一円で開催。絞り製品が販売されるほか、染色体験、実演やまち並みツアーなども実施され、有松・鳴海絞りの魅力を堪能できる。

【西区/7月】円頓寺七夕まつり

円頓寺商店街の夏の風物詩。商店街の店主たちが手作りするハリボテ飾りや吹き流しがアーケードを彩り、多くの出店でにぎわう。ステージイベントも実施。

【港区/7月】海の日名古屋みなと祭

名古屋港の夏を彩る一大イベント。パレードや総おどりなど、多彩な催しを実施。海の日にガーデンふ頭一帯で打ち上げられる約3,000発の花火でフィナーレを飾る。



©海の日名古屋みなと祭観覧会

【中区/10月】大須大道町人祭

大須商店街で行われる、市民による市民のための祭り。ジャグリングや舞踏、バンドタイムなど、さまざまな芸やおいらん道中などを見ることが出来る。



名古屋観光の目玉！

トンカツに甘辛の味噌！
ご飯が進む名古屋の常識

味噌カツ

豆味噌ベースのタレをかけたトンカツや串カツのことで、ルーツは戦後の屋台。客がどて煮の鍋に串カツをつけて食べたのが始まりとか。豆味噌にほかの調味料を混ぜて甘辛く仕上げた味噌ダレをトンカツの上にかけるか、タレを張った鍋にカツを浸すパターンが多いが、タレを別皿で出す店もある。



家庭で大活躍！

豆味噌をベースに上品な甘さに仕上げた家庭用の味噌ダレ。おでんなどにかければなごやめしに！名古屋人の冷蔵庫に欠かせない万能調味料。

●つけてみそかけてみそ



豆味噌いわゆる「赤味噌」を使った料理をはじめ、ひつまぶし、手羽先、組み合わせがユニークな小倉トーストなど、独特な食文化が息づく名古屋のご当地グルメは、今や名古屋観光に欠かせない存在となっている。その数は20から30もあると言われ、近年ではアレンジメニューも続々と生まれている。



3通りの味わいを楽しみ
締めは好みの食べ方で！

ひつまぶし

ウナギの蒲焼きを短冊状に刻み、おひつに盛ったご飯の上にオン。これをまずは4等分にして、自分で茶碗によそう。1杯目はそのまま。2杯目は薬味を散らし、3杯目はダシ(またはお茶)をかけて。締めの4杯目は、好みの食べ方をリピート。つまり醤油ベースのこってりとしたタレも名古屋流。

手羽先

正確には手羽先唐揚げ。鶏肉の羽の先の部分で、ゼラチン質と脂肪が多く肉が少ない部位のため、かつては飼料用に使われるのが一般的だった。この手羽先を素揚げして甘辛いタレを塗り、スパイスやゴマをふりかけて、ピリ辛かつ香ばしく仕上げている。中華料理店などでは煮込むタイプもメニューにある。



ピリ辛味でビールが進む
居酒屋の王道メニュー

香り立つ味噌つゆが噛み応えのある麺とマッチ！

味噌煮込みうどん

豆味噌のつゆで煮込んだうどん。土鍋でぐつぐつ煮え立つアツアツ感と、芳醇な味噌の香りが食欲をそそる。土鍋に麺を直接入れて火にかけるため、塩水ではなく真水で打った煮込み専用の麺を使うのが特徴。一般的なうどんのものもちとしたコシのある食感とは異なり、独特の噛み応えがある。



喫茶店の人気もの！和洋折衷のスイーツパン



小倉トースト

パンに塗ったバターやマーガリンの塩味とあんこのまるやかな甘味が調和する和洋折衷のトーストは、名古屋の喫茶店でおなじみのメニュー。そのルーツは、大正時代後期に栄で創業した喫茶店。学生がぜんざいにトーストを浸して食べているのを見た女性店主が考案したと言われている。

あんこスイーツはみやげにも人気！

あんこ好きの名古屋らしいスイーツ。半世紀以上愛される王道のしるこサンドをはじめ、ラングドシャやクッキーに合わせた新感覚の洋菓子などバラエティー豊か。意外性のある組み合わせでありながら、一度食べたらヤミツキに。

➡しるこサンド



④小倉トーストラングドシャ

天むす

小エビの天ぷらを具にして海苔を巻いた小ぶりのおむすび。エビ天の旨味と、ご飯のほのかな塩味が絶妙なバランス。一般的なおむすびの半分くらいのサイズなので食べやすく、小腹が空いた時のおやつにも重宝する。愛知県の特産野菜であるフキを佃煮にした、きょうらぶきの付け合わせとの相性も抜群だ。

エビ天のミニおむすびは差し入れや
手みやげに人気



なごやめし

進化が続く喫茶店サービスは
朝活の強い味方！



モーニング

おもに、朝の時間帯にドリンクを注文すると、トーストやゆで玉子などが付く喫茶店のサービス。たくさんのおまけが付く店や、一日中モーニングを売りにする店もある。愛知県は全国2位の約6,171店(※)がひしめき合う喫茶店激戦区であり、競合店との差別化のためにモーニングも進化した。

※愛知県公式サイトより「令和3年経済センサス・活動調査」参照